

「長浜市しょうがい福祉プラン」の中間見直しにかかる意見調査等からの課題について

1. 「やさしいまちづくり「あたたか」について」

(1) 相互理解の推進

- ・ しょうがい福祉マークの理解と啓発不足。
- ・ 積極的な情報発信。

(2) 地域福祉の推進

- ・ 各種団体の会員の高齢化と後継者の不足。
- ・ ソーシャルキャピタルの強化。

(3) 地域ネットワークの強化

- ・ 相談支援専門員数の不足、質を更なる向上。
- ・ 長浜米原しょうがい者自立支援協議会の活性化と取組内容等の情報公開。
- ・ 市民に対しての相談窓口の周知が不十分。

(4) ユニバーサルデザインのまちづくり

- ・ バリアフリー化になっていない施設等がある。
- ・ しょうがいの特性に応じた情報提供。

2. 「地域生活の支援「あんしん」について」

(1) 生活支援

- ・ 成年後見制度の周知。
- ・ 介護職員不足による入所施設の定員減や共同生活援助施設の不足。
- ・ 地域アドボケートの養成や連携。

(2) 防災・防犯等の対策

- ・ 見守り支えあい制度や福祉避難所研修の充実。
- ・ 福祉避難所等での手話通訳者の配置。
- ・ 呼吸器用バッテリーの備蓄、配給や電源の確保。
- ・ 医療的ケアを要するしょうがい者の避難方法の検討。

(3) 権利擁護・虐待防止

- ・ 権利擁護・虐待防止に関する相談先等の周知。
- ・ 虐待等ケース会議の充実。
- ・ 後見人の確保と法人後見の検討。

(4) 福祉人材の確保（新規項目）

- ・ 居宅介護、同行援護、相談支援専門員の人材確保の圏域での取組み。
- ・ 同性介護を行うために女性職員の確保。
- ・ 将来の介護職員の育成と離職者の防止策。

3. 医療・保健・福祉の連携「すこやか」

(1) しょうがいの早期発見・早期支援

- ・医療と福祉等、専門職との連携。
- ・社会モデルに基づいた幼少期からの切れ目のない支援体制の構築。

(2) 精神保健・医療の充実

- ・ゲートキーパーの養成と啓発。
- ・引きこもりの相談先等の周知。

(3) 医療的ケアへの対応

- ・医療的ケアの必要な方の緊急時の受け入れ先の充実。
- ・医療的ケア児の支援における医療・保健・福祉・教育の連携

4. 子どもの発達・教育支援「はぐくむ」

(1) 地域における子育て支援

- ・地域ぐるみで児童生徒を育みサポートできる体制の構築。

(2) 乳幼児期からの早期支援

- ・幼児期の段階からの学齢期を見据えた支援。

(3) 学齢期における支援

- ・インクルーシブ教育の理解、啓発。
- ・教育部門と福祉部門の連携。

5. 「活動の充実「いきがい」について」

(1) 就労支援

- ・しょうがい者に対する企業の意識向上の為の啓発。
- ・働くことでしょうがいのある方が活躍できる場の創出。
- ・行動障害のある生徒の高等部卒業後の行く所がない。

(2) 日中活動支援

- ・障害者が使いやすいプールや運動施設の不足。
- ・移動手段や介助保障が不十分。
- ・医療的ケア児が利用できる放課後等デイサービスがない。

(3) 社会参加・参画の促進

- ・余暇活動時の外出支援を行う為の移動手段・サービスが少ない。
- ・しょうがいを持つ人たちが参加できる企画、娯楽場所等の周知。
- ・趣味活動に参加ができるような場所が少なく、選択肢がない。